



神郷 公民館だより



神郷公民館

46-1181

koukou@city.niihama.ehime.jp

神郷校区の人口	
人 口	10,025人
(男)	4814人
(女)	5211人
世帯数	4566世帯
平成29年12月末現在	

川東中学校2年生

少年の日を迎える決意作文

「十四歳としての自覚」

目野 優羽



少年の日とは昔の元服にあたる、大人への一步を自覚する時です。私はまだ、具体的な夢というものは決まっています。しかし社会の一員になるときは、自覚や志が必要です。今までは身近な仕事などを怠っていたり、何気なく言った言葉で、知らない間に相手を傷つけた事があったかも知れません。これからは普段の言動に自覚と責任を持ち、支えてくれている周りの人々に感謝の気持ちを持たない様にします。また、将来自立して生きていくために、今から自分で目標を立てて努力することを心掛けます。もうすぐ三年になり、部活では総体を迎えます。今まで練習に励んできた仲間と県総体に出るのを目標とし、それに向かって日々の練習を頑張っていきます。そして、なりたい自分に近付くために、自覚と志を持って積極的に様々な事に挑戦していきたいです。今までできてなかった事にチャレンジする時です。

「将来の夢」

高橋 優香

私の将来の夢は、看護師になることです。なりたい理由は三つあります。一つ目は、病気になった方を少しでも助けたいからです。もし自分が病気になる不安なときに看護師の人に「大丈夫ですよ。」と言われたら、すごく安心すると思います。患者さんの不安な気持ちを助けてあげたいし、少しでも体が良くなるようにサポートしてあげたいです。二つ目は、病気になった方が元気になったときの笑顔がみたいからです。自分が今まで支えてきた患者さんの元気になったときの笑顔は、これからも看護師を続けようと思うはげみになります。自分が人を笑顔にできる仕事はすごくやりがいがある、良いと思います。私も患者さんを笑顔にできる看護師になりたいです。

三つ目は、人と接する仕事がしたいからです。私は、子供がすきで本当は保育士になろうと思っていたけど、病気の子どもたちがいる小児科に興味をもって、看護師になろうと思いました。子供たちと接するのはとても楽しいし、病気の子どもたちをばげましてあげたいです。子供たちだけじゃなくて、お年寄りの患者さんにもばげましの言葉をかけてあげたいです。

私は、この三つの理由から看護師になろうと思いましたが、私がケガをした時などに優しい言葉をかけてくれた看護師の人にすごく憧れます。私も、患者さんに優しい言葉をかけることができ、患者さんのはげみになるようなことができ

できて、患者さんが少しでも元気になるようにサポート出来る看護師になりたいです。そのために、今は勉強、習い事、部活動にはげみ、日々精進できるように頑張ります。

「少年の日を迎えて」

丹下 天翔

僕は少年の日を迎えて社会へ自立し、一人の立派な大人になるために、二つの事をここに誓いたいと思います。一つ目は甘えないということです。今までは祖母や、母や、父などの支えがあってこそやってこれました。が、次は僕が支える番なので人に甘えず、適度に自分に厳しく生きていきたいと思えます。

二つ目は諦めないことです。これからは様々な壁が立ちました。かかってくるとおもいますが、なのでそれを諦めず、時には人の力も借りていきながら、壁を乗り越えて、頑張っていきたいと思えます。

これらのことを意識して、立派な大人へとなっていきたいと思えます。そのためにも、一人で抱えこまず、時には人の力も借りて一生懸命生きていくことをここに誓いたいと思えます。

「少年の日を迎えて」

矢野 孝景

僕は少年の日を迎えて、中学生になってきてない二つの事を頑張りたいと思いました。

一つ目は、テスト勉強です。テスト勉強は前日や二日前にすることが多いですが、もっと早く始めれば、もっと良い順位ができると思うので、一週間前や二週間前にコツコツやり始めたいです。

二つ目は部活です。学校での部活はしっかりできていくけど、家に帰ってからの努力が全然できてなかったの、もっと家での練習を頑張りたいと思います。

この二つを頑張つて、ちよつとでも大人になって「やってよかった」と思えるようなことをやっていきたいと思えました。

「少年の日を迎えて」

白石 楓

私は、この少年の日を境に、自覚・立志・健康に基づく目標をたてました。

一つ目は「自覚」についてです。一つ一つの行動に責任を持ち、考えて行動したいです。また、自分のよくないところにも目をむけて理解し、直していきたいと思います。

二つ目に「立志」についてです。自分で目標をたてて、それを貫いて実行できる意志をもちたいです。また、人生においての目標もたてたいです。

そして三つ目は「健康」についてです。もちろん命を大切にしたいです。一日三食しっかり食べて生活習慣を今のうちに身につけていきたいです。

これからのことをしっかり意識し、良い大人への第一歩を踏み出せていきたいと思います。また、当たり前だと思ってしまうのではなく、小さなことでも感謝をしていきたいです。

人権標語(神郷小)

わたし出発優しい言葉 みんなに続く バトンリレー
6年 田中 美琴(みこと)

だいじょうぶ 1人じゃないよ そばにいる
少しでも光るといいな 希望の光
6年 菅 美乃莉(みのり)

勇気だし やめるも止めるも 自分から
6年 鎌倉 朱里(しゅり)

神郷俳句教室

平凡に過ごす余生や秋刀魚焼く
村上 生子

節分会鬼役の父星となり
安藤 由子

鮪糺る一番高値に沸く市場
市川 由紀子

小春日にグラウンドゴルフ弾みいる
岩崎 俣昌

触れてみてそつと離すや藪椿
内田 八重子

初市や高値つづきの野菜かな
小野 美重子

赤々と朝日きらめく冬の樹々
加藤 ミドリ

山茶花や名残りの一片庭の隅
加地 清子

師の選に洩るるも励み返り花
佐々木 俊行

悴みし素足の列や僧が行く
永易 千鶴子

陸橋の鉄錆臭し春隣
三好 寿恵子

野良猫となりしシャム猫恋激し
阪上 史琅

探訪シリーズ

西条藩の新田開発と検地



地境御定杭測定概略図（今昔調）

伊予八藩のうち、干拓等による新田開発が最も盛んであったのは西条藩でありました。西条藩の新田開発の記録のなかの、この地方についての状況をみると、阿島・又野・落神の三河川が流入する黒島・垣生山・郷山に囲まれた地域で多喜浜塩田が開発され、同時に久具新田・九左衛門新田（松神子）・孫兵衛新田（松神子）・勘左衛門新田（松神子）・己改新田（松神子）等が開拓されたと記録されております。

江戸時代における幕藩体制の経済的基盤は、農地・領地の確保と農業生産の向上にありましたが、いつの時代においても農地・領地の確保と拡大は、時の権力者、覇者の最重要課題でありました。そのもととなる土地の確保の確立は検地であり、検地帳でありました。

土地の調査は古代からあり、歴史的には平安時代の民部省図帳、荘園制下の検注、鎌倉幕府の田文^{たぶみ}などもありましたが、これらは農民支配を目的とすることでは同じですが、調査方法は幼稚で内容も粗放な一時的な性格が強いのものでありました。室町時代から戦国時代になると、領主の政治的、経済的支配が強大となり、次第に精密な検地が行われるようになりました。

織田信長の天下統一事業を継承した豊臣秀吉は、従来の検地を組織・統一化して全国的に拡大させました。これがいわゆる太閤検地で統一的丈量単位で一筆ごとに実測し、土地を収穫量で表示する石高制を完成させました。

江戸幕府は、ほぼ秀吉の制度を継承しましたが、改めて土地を丈量し、1村ごとに田畑、屋敷の反別、等級、収穫高、耕作者などを具体的に調査しました。これらの調査結果をまとめたものが徳川幕府の検地帳であります。これにより村落の境界が確定され、村高、さらに領国の石高が決まり、年貢諸役賦課の基準が定まりました。諸大名は古検地帳をもとに新検地を行いました^{ひとつやなぎなおき}が、西条藩では慶安元年（1648）一柳直興^{よりずみ}が、太閤検地から62年目に新検地を行い、寛文10年（1670）に松平頼純が再検地をしました。その後変化あるごとに部分検地を絶えず行い、農地は次第に増加しました。西条藩では松平就封以前の分を本田畑、その以後を新田畑と区分しました。

徳川時代の作人制度は、田畑の実際所有者を高持百姓（本百姓）といい、高持百姓で土地を小作人に託した場合は地主、自ら耕作する場合は自作と名乗りました。小作の場合は、地主と小作で小作料の協定をしました。

おめでとうございます！

祝 公民館活動功労者表彰

2月24日に開催されました第58回新居浜市公民館研究大会において、公民館活動功労者として新居浜市教育委員会教育長より長年にわたる公民館活動の推進にご尽力いただいたことの功績を称えられ表彰されました。おめでとうございます。

公民館活動功労者

白石ツヤ子さん（公民館運営審議委員・神郷史情保存会）

一体型放課後子ども教室

わくわくクラブ「パン教室」

2月17日（土）に神郷まちづくり委員会健全育成部さんのご協力により一体型子ども教室わくわくクラブの「パン教室」を行いました。この子ども教室は平成29年4月から始まり今年度は17回開催し、今回は今年度最終回でしました。まちづくり委員会さん、老人クラブさん等地域の方々が大変お世話になりました。

貴重な体験ができました。ありがとうございました。



神郷校区連合自治会

コミュニティ行事用具を整備

神郷校区連合自治会は、地域のイベントで使用するテーブル、椅子、テントの用具を整備しました。これは、一般財団法人自治総合センターが宝くじの収益を財源とした「一般コミュニティ助成事業」の助成を受けて整備したものです。



学校開放運委員会の開催について

日時 平成30年3月26日（月） 19:00～
場所 神郷公民館 学習室

※日頃、神郷小学校及び川東中学校のグラウンド、体育館等を使用されている団体さん対象の年に一度の会です。代表者の方が出席できない場合は代理の方の出席をお願いします。

3月（弥生）の行事予定

1日（木）	19:00～	環境美化部会	神郷公民館
2日（金）	13:30～	読み聞かせ反省会	〃
3日（土）	19:30～	子供育成会	〃
4日（日）	8:00～	手みやげ事業	〃
5日（月）	10:00～	子育てサロン	〃
		いきいきセミナー閉講式	〃
	19:00～	運審会	〃
6日（火）	19:00～	健全育成部会	〃
7日（水）	19:00～	老人会長会	〃
14日（水）	19:00～	民児協定例会	〃
16日（金）		中学校卒業式	川東中学校
20日（火）		神郷幼稚園卒園式	神郷幼稚園
22日（木）		小学校卒業式	神郷小学校
23日（金）		小・中学校修了式	小・中学校
	19:00～	連合自治会長会	神郷公民館
26日（月）	19:00～	学校開放説明会	〃
27日（火）	10:00～	老人クラブ総会	〃
30日（金）	18:00～	まちづくり総会&懇親会	〃